

平成29年度当初予算案の概要

～市制施行80周年記念事業含～



昭和12年 市制施行を祝う仮装行列

平成29年2月

船橋市

I はじめに

本市は、将来にわたり発展したまちであり続けるために、山積する諸課題の解消と安定した行財政運営の両立を図る必要があることから、平成28年4月に行財政改革推進本部を設置し、人口ビジョン等のデータを活用して将来財政推計の算定を行いました。

平成29年度予算編成につきましては、厳しい財政状況の中、将来財政推計に基づき、減債基金の計画的な積み立てや事務的経費の削減等可能なところから着手しました。

平成29年度は、しっかりと課題を見据えた中で、10年後、20年後の将来につなげていくまちづくりというものを念頭に置いた予算配分を行ったところです。

また、平成29年度は、昭和12年（1937年）に市制施行してから80周年の節目の年となります。市民の皆様とともに考え一步を踏み出す年と位置付け、全国に誇れる「都市力」と「市民力」をさらに伸ばし、誰もが暮らしやすく、市民に愛されるまちとなるよう、全力で取り組んでまいります。

II 予算案の全体像

【平成29年度当初予算】

平成29年度の一般会計の予算規模は、2,095億円と平成27年度から3年連続して2,000億円を超える額となりました。

前年度に比べて27億5,000万円、率にして1.3%の減となりました。一般会計の予算額が前年度を下回るのは平成20年度以来9年ぶりのことです。

予算規模

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
一般会計	209,500,000	212,250,000	△2,750,000	△1.3%
特別会計	146,380,000	140,597,000	5,783,000	4.1%
企業会計	19,572,000	18,812,000	760,000	4.0%
合計	375,452,000	371,659,000	3,793,000	1.0%

特別会計については、平成28年3月で事業を廃止し精算が終了する小型自動車競走事業特別会計を廃止します。また、行田地区に中学校、二和地区には公共施設を整備するために国家公務員宿舎跡地を公共用地先行取得事業特別会計を活用して取得します。特別会計の合計の予算規模は、1,463億8,000万円と前年度と比べて57億8,300万円、率にして4.1%の増となりました。

地方卸売市場事業・病院事業の企業会計を含めた全ての会計の予算規模は、3,754億5,200万円と前年度と比べて37億9,300万円、率にして1.0%の増となりました。

【一般会計 歳入】

一般会計のうち歳入面では、人口の増加による個人市民税の増収や固定資産税、都市計画税などの増収により市税収入を、990億1,450万円と見込みました。前年度予算と比較して、8億2,020万円、0.8%の増となり、市税収入としては、過去最大となります。

普通交付税は、平成28年度の算定結果、国の平成29年度の地方財政対策で確保された地方交付税の総額を参考に、33億1,300万円を計上しました。

主な一般財源

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
市税	99,014,500	98,194,300	820,200	0.8%
うち個人市民税	43,833,000	43,078,000	755,000	1.8%
うち法人市民税	5,972,800	6,485,000	△512,200	△7.9%
うち固定資産税	35,500,900	35,021,000	479,900	1.4%
うち都市計画税	7,473,000	7,361,000	112,000	1.5%
地方消費税交付金	9,292,900	9,574,500	△281,600	△2.9%
普通交付税	3,313,000	3,950,000	△637,000	△16.1%
臨時財政対策債	7,291,000	6,120,500	1,170,500	19.1%
借換債を控除後	6,093,000	4,800,000	1,293,000	26.9%
財源調整基金繰入金	8,700,000	7,700,000	1,000,000	13.0%

市債の発行額については、南部清掃工場の建て替え、総合消防情報システムの整備、(仮称)塚田第二小学校用地購入、市立高校第3体育館の改築のほか、公共施設の長寿命化や都市基盤の整備を行うことから、250億140万円(臨時財政対策債を含む。)となっています。これは、平成28年度予算における発行額と比較して1億7,320万円の減額となります。

借換債を除いた臨時財政対策債が60億9,300万円と平成28年度と比較して12億9,300万円、率にして26.9%増と高い伸びとなっています。国全体の交付税総額が3,705億円減少している一方で臨時財政対策債が2,572億円増加しており、中核市である本市においては、臨時財政対策債での対応が求められることを見込んだことによるものです。

※ 借換債とは、発行に際して、あらかじめ同意を得た償還期間より短い期間で資金を借り入れた市債について、満期になった時点で再度資金を借り換えるものです。

※ 臨時財政対策債とは、地方交付税として必要なお金が不足するため、国と地方が折半して負担するというルールに基づき発行する市債です。なお、この市債の償還に係る元金と利子については、将来の地方交付税に加算されることになっています。

市債（一般会計）

（単位：千円）

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
建設事業債	17,710,400	19,054,100	△1,343,700	△7.1%
借換債を控除後	16,636,800	18,125,500	△1,488,700	△8.2%
臨時財政対策債	7,291,000	6,120,500	1,170,500	19.1%
借換債を控除後	6,093,000	4,800,000	1,293,000	26.9%
計	25,001,400	25,174,600	△173,200	△0.7%
借換債を控除後	22,729,800	22,925,500	△195,700	△0.9%

【一般会計 歳出】

一般会計のうち歳出面では、小学校用地購入、市立高校第3体育館の整備、保育所整備などに取り組みますが、北部清掃工場の整備、ふなばし三番瀬海浜公園の整備に係る事業等が終了することから、普通建設事業費は、対前年度比14.2%減となっています。また、今後の公債費の増加に対応するため、減債基金の積立を増やしたことにより、積立金は対前年度比307.1%増となっています。

さらに、公債費については、借換えのための償還額の増に加えて、小中学校等の耐震改修等にあたって借り入れた市債の元金償還の据え置き期間が終了し、元金償還が始まることから、対前年度比1.6%増となっています。

歳入予算額対前年度比較

(単位:千円)

区 分	29年度	28年度	比 較	伸 び 率
	予算額	予算額		
10 市税	99,014,500	98,194,300	820,200	0.8
15 地方譲与税	881,600	901,100	△ 19,500	△ 2.2
20 利子割交付金	112,900	106,800	6,100	5.7
21 配当割交付金	683,900	691,200	△ 7,300	△ 1.1
23 株式等譲渡所得割 交付金	645,800	653,900	△ 8,100	△ 1.2
24 地方消費税 交付金	9,292,900	9,574,500	△ 281,600	△ 2.9
25 ゴルフ場利用税 交付金	3,100	3,300	△ 200	△ 6.1
30 自動車取得税 交付金	275,600	237,200	38,400	16.2
35 国有提供施設等 所在市助成交付金	198,800	198,800	0	0.0
37 地方特例交付金	500,000	460,000	40,000	8.7
40 地方交付税	3,665,000	4,383,000	△ 718,000	△ 16.4
45 交通安全対策 特別交付金	62,700	63,400	△ 700	△ 1.1
50 分担金及び負担金	2,058,700	1,837,500	221,200	12.0
55 使用料及び手数料	5,220,100	5,103,400	116,700	2.3
60 国庫支出金	32,911,400	35,705,700	△ 2,794,300	△ 7.8
65 県支出金	9,896,400	9,441,300	455,100	4.8
70 財産収入	400,200	425,700	△ 25,500	△ 6.0
75 寄附金	759,900	598,900	161,000	26.9
80 繰入金	8,900,400	10,002,300	△ 1,101,900	△ 11.0
85 繰越金	300,000	300,000	0	0.0
90 諸収入	8,714,700	8,193,100	521,600	6.4
95 市債	25,001,400	25,174,600	△ 173,200	△ 0.7
合 計	209,500,000	212,250,000	△ 2,750,000	△ 1.3

歳出予算額対前年度比較 (款別)

(単位:千円)

区 分	29年度	28年度	比 較	伸 び 率
	予算額	予算額		
10 議会費	962,900	985,500	△ 22,600	△ 2.3
15 総務費	18,525,700	18,472,000	53,700	0.3
20 民生費	89,599,900	87,959,100	1,640,800	1.9
25 衛生費	19,103,700	25,738,600	△ 6,634,900	△ 25.8
30 労働費	184,200	193,800	△ 9,600	△ 5.0
35 農林水産業費	634,900	577,600	57,300	9.9
40 商工費	4,298,400	4,400,200	△ 101,800	△ 2.3
45 土木費	24,329,300	26,590,200	△ 2,260,900	△ 8.5
50 消防費	7,751,600	6,261,200	1,490,400	23.8
55 教育費	29,061,000	26,279,500	2,781,500	10.6
65 公債費	14,748,400	14,492,300	256,100	1.8
75 予備費	300,000	300,000	0	0.0
合 計	209,500,000	212,250,000	△ 2,750,000	△ 1.3

歳出予算額対前年度比較 (性質別)

(単位:千円)

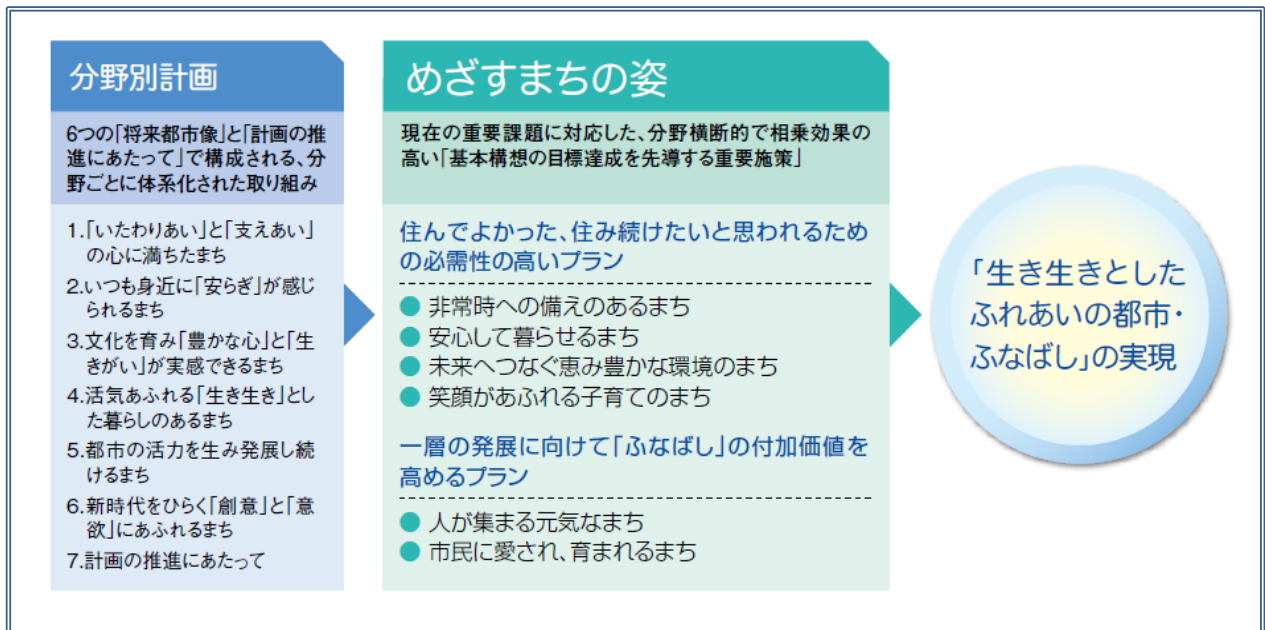
区 分	29年度	28年度	比 較	伸 び 率
	予算額	予算額		
人 件 費	35,600,046	36,952,672	△ 1,352,626	△ 3.7
物 件 費	32,869,591	33,028,305	△ 158,714	△ 0.5
維持補修費	1,295,271	1,283,169	12,102	0.9
扶 助 費	53,718,754	53,206,704	512,050	1.0
補 助 費 等	11,292,579	11,624,902	△ 332,323	△ 2.9
普通建設事業費	28,717,855	33,459,729	△ 4,741,874	△ 14.2
補助事業	7,475,483	12,338,791	△ 4,863,308	△ 39.4
単独事業	21,242,372	21,120,938	121,434	0.6
公 債 費	14,786,500	14,548,030	238,470	1.6
積 立 金	3,589,705	881,868	2,707,837	307.1
投資及び出資金	108,000	949,300	△ 841,300	△ 88.6
貸 付 金	3,339,662	3,308,442	31,220	0.9
繰 出 金	23,882,037	22,706,879	1,175,158	5.2
予 備 費	300,000	300,000	0	0.0
合 計	209,500,000	212,250,000	△ 2,750,000	△ 1.3

※普通建設事業費のうち、単独事業には県営事業負担金及び同級他団体施行事業負担金を含む。

Ⅲ 主要事業の概要

(1) 「めざすまちの姿」とは

本市を取り巻く課題や市民のニーズを踏まえ、分野別計画に横串をさすように、特に重要なまちづくりのテーマを設定して、優先的・重点的に取り組むべき施策を抽出したものが「めざすまちの姿」です。



(2) 予算案における主要事業

次頁以降に、平成29年度当初予算に係る主要事業を6つの「めざすまちの姿」ごとに示します。

- ※予算額は、千円未満を切り上げて記載しています。
- ※右端の頁は、「予算参考資料」の頁を表わしています。
- ※○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。
- ※ここで紹介する事業には、複数の事業の組み合わせや、事業の一部で構成されているものもあるため、予算額や事業名が「予算参考資料」とは必ずしも一致しません。

①

非常時への備えのあるまち

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○防災アセスメント調査及び地区別防災カルテの改定

(7,350千円) 29・136頁

平成28年5月に発表された新たな千葉県の地震被害想定では、本市においても甚大な被害が想定されています。これに伴い、平成29・30年度の2か年で平成22年度に実施した防災アセスメント調査を改めて実施するとともに、地区別防災カルテを改定します。

【危機管理課】

△防災行政無線の整備

(294,648千円) 29頁

災害時の情報伝達に利用する防災行政無線のデジタル化を平成31年度までに計画的に進めます。また、防災行政無線の聞き取りにくい市内4か所（三山8丁目、神保町、旭町4丁目、同5丁目）にスピーカー等放送設備を新たに設置します。

【危機管理課】

△防災士取得・災害救援ボランティア講座の受講費用を補助

(1,899千円) 29頁

地域での防災活動を担うリーダー的な人材を育て、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織を結成した町会・自治会等から推薦のあった市民を対象に、防災士資格取得費や災害救援ボランティア講座の受講料を補助します。

また、地域及び行政の両面から大規模災害時や緊急事態に的確に対応できるよう、市職員の防災士資格取得を進め、平成32年度に100名を目指します。

【危機管理課】

○災害時における市民協力の推進

(490千円) 29頁

大規模な災害の発生直後の市職員や医療関係者の対応等による支援体制が整うまでの間、地域住民の協力が不可欠となることから、地域住民を対象とした地域医療関係者による災害医療の普及・啓発・研修などを行います。

【危機管理課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○（仮称）地域災害医療対策会議の設置

（816千円）63頁

災害発生時や平時における災害時医療救護体制全般に関する活動及び災害医療に関する人材育成、研修、訓練等のあり方等を検討するため、「（仮称）地域災害医療対策会議」を設置します。

【保健所総務課】

△鉄道施設の耐震対策

（35,628千円）95頁

今後、発生が予想されている大規模地震による被害の未然防止や拡大防止を図るため、高架橋等の鉄道施設の耐震化事業を行う3つの鉄道事業者（東葉高速鉄道(株)、北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)）に対し、費用の一部を助成します。

【道路計画課】

△大雨による浸水への対策

（374,407千円）95・97頁

都市化に伴う雨水流出の増大に対応するため、古和釜小学校の校庭及び習志野台7丁目地区に雨水貯留浸透施設を整備するとともに、準用河川駒込川の改修工事等を進めます。

【河川整備課】

○救急隊への自動式心肺蘇生装置の配備

（6,539千円）109頁

救急活動時、心肺機能停止傷病者に対して、質の高い胸骨圧迫を続けることで、傷病者の救命率向上を目指すため、ドクターカーへ積載されている自動式心肺蘇生装置の更新を行うとともに、管轄救急隊に対しても、計画的に整備を進めます。

【消防局総務課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○転院搬送に特化した救急隊の試行運用

(718千円) 109頁

救急業務としての転院搬送（医療機関から医療機関への搬送）件数が、救急隊1隊あたりの年間平均救急出場件数に相当することから、救急要請が集中する場合の緩和対策として、救急資格を保有する再任用職員により転院搬送に特化した救急隊を編成し試行運用を行い、その効果を検証します。

【消防局総務課】

△(仮称) 東消防署古和釜分署・消防訓練場の整備

(359,610千円) 111頁

消防力の充実・強化を図るとともに、複雑多様化する各種災害の発生に備え、消防職員及び団員等の災害対応能力の向上を図るため、古和釜町・松が丘地区に消防分署及び消防訓練場を整備します（平成31年度開署予定）。

【消防局総務課】



平成31年度開署予定の消防分署・消防訓練場のイメージ

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△空家等対策計画の策定

(749千円) 31頁

近年増加傾向にある空家に関して、所有者等に適正な管理を促すとともに、予防策や利活用を含めた総合的な観点から対策を進めるため、平成28年度に実施した市内全域を対象とした空家等の実態調査に基づき、空家等対策協議会の協議を経て、空家等対策計画を策定します。

【市民安全推進課】

○居住支援協議会の設置

(11,243千円) 33頁

ひとり暮らし高齢者等の住宅確保要配慮者が、民間賃貸住宅へ円滑に入居できるように、新たに「(仮称)船橋市居住支援協議会」を設置します。

また、住まいさがし等に関する相談窓口の設置、賃貸物件情報の紹介、契約時の同行支援など、転居を希望するひとり暮らし高齢者等に対し様々な居住支援サービスを実施します。

【住宅政策課・健康政策課】

○生活困窮者への家計相談支援

(6,115千円) 33頁

生活困窮者の早期の生活再生を目指していくため、家計に関する相談及び支援を行う家計相談支援員を配置します。

【地域福祉課】

●障害者差別解消支援地域協議会の設置

(1,114千円) 35頁

船橋市自立支援協議会に、新たに障害者差別解消法に基づく障害者差別解消支援地域協議会を設置し、相談事例の共有や意見交換などを通して、障害者差別の解消を目指します。

【障害福祉課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○障害児（者）施設や保育所等子育て支援施設の防犯対策

（61,311千円）37・45・51・55・57頁

障害福祉施設、障害児通所支援施設等及び私立保育所を運営する法人に対し、防犯カメラ設置など不審者の侵入防止に必要な施設改修をした場合、整備費の一部を補助します。

また、市立保育所17か所、児童ホーム19か所等にも防犯カメラを設置することにより、防犯対策の強化を図ります。

【障害福祉課・療育支援課・地域子育て支援課・
公立保育園管理課・子ども政策課】

○特別養護老人ホーム多床室のプライバシー保護

（35,000千円）39頁

特別養護老人ホームの多床室について、入所者のプライバシー保護のための改修費の一部を助成し、居住環境の向上を図ります。

【高齢者福祉課】

△特別養護老人ホームの入所待機者対策等

（407,000千円）39頁

特別養護老人ホームの入所待機者対策として施設整備を進めるため、平成29年度は80床の整備を実施する社会福祉法人に対し、整備費の一部を助成します。また、開設後満10年以上を経過した軽費老人ホームの改修費の一部を助成します。

【高齢者福祉課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

●介護人材確保対策の推進

(21,332千円) 43頁

介護に従事する人材を確保するため、合同就職説明会を開催します。また、EPA（経済連携協定）を締結しているベトナム、フィリピン、インドネシアから介護福祉士候補者を受け入れる施設に費用助成を新たに行うとともに、介護職員初任者研修受講費の助成に加え、新たに介護福祉士資格取得に係る実務者研修についても15万円を限度に助成するなど、介護人材確保対策を推進します。

【介護保険課】

△医療センター建替えの検討

(9,876千円) 61・136頁

昭和58年に開院した市立医療センターの老朽化等に伴う建替えに向け、平成28年度に策定した基本構想等を踏まえ、平成29・30年度の2か年で基本計画を策定します。

【健康政策課】

△公園を活用した健康づくりの推進

(7,909千円) 65・103頁

身近な公園で手軽にできる運動習慣を身につけ自主的な健康づくりが推進されるように、公園を活用した健康づくりを推進します。平成29年度は実施公園を27か所に拡大します。また、引き続き公園に健康器具を整備します。

【地域保健課・公園緑地課】

●特殊歯科診療サービスの充実

(46,849千円) 67頁

特殊歯科診療サービスの充実を図るため、かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所での診療日を、要介護高齢者の診療は週3日から5日に、障害児（者）の診療は週4日から6日に拡大します。

【健康政策課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△歩行者等の安全対策

(516,360千円) 93頁

歩行者が安全に通行できる空間を確保するため、歩道を整備します。コミュニティ道路の整備については、市道14-073号線（山口横丁）の詳細設計をはじめ、市道14-070号線（仲通り）の道路舗装工事を行うほか、生活道路の安全を確保するため、ゾーン30を6か所で整備します。

さらに、自転車利用者が安全で快適に利用できるよう、自転車走行箇所をカラー舗装します。

【道路計画課・道路建設課・道路維持課】

△バス停留所に上屋やベンチを整備

(45,000千円) 93・99頁

高齢者等の外出支援を目的とし、バスの利便性を高めるため、停留所に上屋やベンチを整備するとともに、上屋やベンチを整備するバス事業者に対し費用を助成することにより、19か所のバス待ち環境の改善を図ります。

【道路計画課・道路建設課】

●認知症初期集中支援チームの設置

(3,406千円) 159頁

西部地区で平成28年度にモデル的に活動してきた、医師や保健師等の複数の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」を、平成29年度は市内全域をカバーする体制を構築し、認知症の早期発見・早期対応を推進します。

【包括支援課】

③

未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△防犯灯・街路灯等のLED化促進等(282,401千円) 31・85・95頁

省エネルギー効果と防犯効果を高めるため、町会・自治会の防犯灯や商店会の街路灯のLED化を促進します。また、道路照明灯のLED化計画を策定するなど、LED化を推進します。

【自治振興課・商工振興課・道路維持課】

△ふなばし三番瀬環境学習館の運営開始(97,230千円) 69頁

四季を通じて三番瀬の仕組みや生物、歴史、営みをテーマにした展示物や体験コーナー等、三番瀬をはじめ、広く環境について学ぶことができる「ふなばし三番瀬環境学習館」を平成29年7月にオープンします。なお、オープンの際には、記念イベントを開催します。

【環境政策課】



「ふなばし三番瀬環境学習館」の館内のイメージ

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△北部清掃工場の新工場の稼働・南部清掃工場の建替え

(2, 112, 260千円) 73・75頁

平成25年度からDBO(※)方式による建替えを進めていた北部清掃工場が、余熱利用施設(ふなばしメグスパ)と併せて平成29年4月から稼働を開始します。また、南部清掃工場もDBO方式による建替えにより、平成32年4月の稼働を目指し、工事を進めます。

【資源循環課】

※DBO (Design Build Operate) : 公共が資金調達を行い、設計・建設・運営を一括して民間に発注する方式のこと。

○西浦処理場を前処理施設へ更新

(7, 500千円) 75頁

西浦処理場については、下水道の普及とともに、し尿・浄化槽汚泥の搬入量が減少していることから、バイオマスエネルギー(※)利活用施設として整備する西浦下水処理場の前処理施設として更新するための整備基本計画・基本設計を実施します。

【資源循環課】

※バイオマス : バイオマスは、英語のbio(生物資源)mass(量)を表す。

発電の燃料となるバイオマスには様々な種類があり、木質資源、下水汚泥、家畜糞尿、食物残渣(ごんさ)等の動植物から生まれた再生可能な有機性資源を言う。

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△都市公園の整備

(284,173千円) 103頁

市民の憩いの場になるとともに、防災面においても重要な公園の拡充を図るため、大穴近隣公園、夏見台東公園を整備します。

【公園緑地課】

△アンデルセン公園の整備

(107,000千円) 103頁

全国から大勢の人が訪れているアンデルセン公園について、花の城ゾーン、自然体験ゾーンに芝生広場等を整備します。また、多くの来園者が見込まれる時期の渋滞対策として、公共交通機関の利用促進や臨時駐車場の確保等により、周辺道路の渋滞緩和に努めます。

【公園緑地課】

△小水力発電設備の導入

(25,000千円) 145頁

西浦下水処理場では、放流水の落差を利用した小水力発電の実証実験を引き続き行います。また、高瀬下水処理場にも発電設備を導入するため、設置工事を行います。

【下水道施設課】

△バイオマスエネルギーの利活用

(8,000千円) 145頁

高瀬下水処理場における将来的なバイオマスの有効利用に向け、平成28年度に策定した基本構想をもとに、バイオマスエネルギー利活用施設整備基本調査を実施します。

【下水道施設課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

●中学生を対象とした学習支援

(62,321千円) 33頁

学力向上を図り、高校進学を支援するため、生活困窮世帯・生活保護世帯・ひとり親世帯の中学生を対象に、学習支援事業を市内4か所で実施します。なお、平成29年度からは定員を260名から300名に拡大します。

【地域福祉課】

●病児・病後児保育事業の拡充

(134,263千円) 45頁

病児・病後児保育事業の実施施設を、平成29年度より新たに1施設増やし、当該施設において、保育所等で体調不良となった児童について、病児保育施設の職員（看護師等）がタクシーで迎えに行き診療所等で受診後、病児保育施設内で預かりを行う送迎対応型病児保育事業を実施します。

【保育認定課】

●認可外保育施設通園児補助金の増額

(109,560千円) 45頁

認可外保育施設に通園している児童の保護者への保育料の助成について、補助限度額を現在の月22,000円から30,000円に増額し、経済的負担の軽減を図ります。

【保育認定課】

△待機児童解消に向けた保育の受け皿確保

(1,070,855千円) 47・57頁

待機児童が特に多い鉄道沿線等を重点化して、認可保育所及び小規模保育事業の施設整備を促進するほか、幼稚園の認定こども園への移行を促進します。

【子ども政策課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

●保育士の確保

(50,539千円) 49頁

保育士の確保のため、市内の保育所等で勤務をしようとする指定保育士養成施設の学生を対象に、修学期間以上勤務すると、貸付金の返還を全額免除する修学資金の貸し付けを行います。

保育士としての就職を希望する学生や、保育士の資格を持ちながら現在保育士として働いていない方などを対象に、就職に向けたアドバイス等を行う研修会を開催するとともに、市内の保育所等にて職場復帰支援のための実習を行います。

平成29年度は、保育士試験合格後、市内保育所等に勤務する方に対し、保育士試験受験のための学習に要した費用の一部を補助する制度を新たに開始します。

【保育認定課】

△(仮称)坪井児童ホームの整備

(45,591千円) 51頁

乳幼児親子や小学生等が自由に遊べる場を提供するとともに、子育て支援や児童健全育成の充実を図るため、平成30年11月の開設を目指し、新築工事に着手します。

【地域子育て支援課】

△放課後ルームの整備

(115,044千円) 53頁

待機児童解消を目指し、小栗原、若松、葛飾及び法典東の各放課後ルームについて、定員拡大を図るための整備を行います。また、新設予定の(仮称)塚田第二小学校の校舎内に、放課後ルームを設置するための設計を行います。

【地域子育て支援課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○塚田地区保育所用地及び（仮称）塚田第二小学校用地の取得

（2,788,486千円）57・119頁

大規模なマンション開発等が進む塚田地区における将来の児童数等の増加に対応するため、工場跡地の一部を保育所用地及び（仮称）塚田第二小学校用地として取得します。

【子ども政策課・施設課】

○宿泊型産後ケア事業等の実施

（17,648千円）61頁

母子健康手帳交付時に保健師等が妊婦全員に面接を行い、一人ひとりの状況にあった妊婦・出産支援プランを作成します。

また、産後、家族等から十分な家事及び育児等の支援が得られない育児不安等のある母子を対象に、医療機関の空きベッドを活用して、心身のケアや育児のサポート等を行う宿泊型産後ケア事業を実施します。

【地域保健課】

●小・中学校特別支援学級を開設

（30,781千円）115頁

障害のある児童・生徒の適切な指導及び必要な支援の充実を図るため、自閉症・情緒障害特別支援学級を三咲小学校、法田中学校、八木が谷中学校に開設します。また、知的障害特別支援学級を南本町小学校に開設します。

【総合教育センター】

●小・中学校等ICT環境の整備

（120,155千円）117・119頁

市立小・中学校のICT環境整備について、坪井小学校・古和釜中学校をモデル校として導入した結果を踏まえて計画的に進めます。平成29年度は、モデル校を除く市立中学校の1・3年生の全教室に電子黒板・教材提示装置・デジタル教科書（5教科等）を整備します。

また特別支援学校については、新たに中学部に電子黒板及びタブレット端末の整備を行います。

【総合教育センター】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○行田3丁目国家公務員宿舎跡地の活用

(1, 124, 819千円) 121・153頁

行田3丁目の国家公務員宿舎跡地を行田中学校の運動場拡張用地として、また、塚田地区の大規模なマンション開発等による将来の生徒数の増加に対応するため、新たに整備する中学校の建設予定地として取得します。

【施設課】

●特別支援学校校舎の増築

(64, 000千円) 123頁

特別支援学校の児童数増加に伴う教室不足に対応するため、高根台校舎（小学部）の増築工事に着手します。

【施設課】

○セカンドブック事業の実施

(4, 000千円) 129頁

各保健センターで実施している4か月児健康相談時の「ブックスタート事業」に加え、新たに1歳6か月児健康診査時に、図書館で実施する「セカンドブックえほんの会」への招待券を渡し、その招待券をもって来館すると、絵本を1冊配布する「セカンドブック事業」を新たに実施します。

【中央図書館】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△ J R南船橋駅南口市有地の活用検討

(20,000千円) 27頁

平成28年度に取りまとめたJ R南船橋駅南口市有地活用の素案について、民間事業者の参入意向や意見を把握し、官民連携事業の実施可能性について検討します。

【政策企画課】

○国立大学法人千葉大学との包括連携協定の締結

(1,000千円) 27頁

本市が抱える様々な課題の解決に向けて、千葉大学の専門的な知見を幅広い分野の施策・事業に活かしていきます。

【政策企画課】

●海老川上流地区のまちづくり検討

(47,557千円) 27・99・136頁

海老川上流地区のまちづくりについて、土地区画整理事業の区域を確定させ、その後、測量業務、基本設計等を行います。また、メディカルタウン構想の策定において、千葉大学の知見を活かしつつ、必要な機能を整理・検討し、まちづくりへ反映していきます。

【都市政策課・政策企画課】

○ワーク・ライフ・バランスの推進

(1,466千円) 77頁

市内企業の経営者・実務担当者向けに、ワーク・ライフ・バランス改善セミナーを開催し、労働者の就業への満足度や生活・労働意欲の向上、企業の業績や生産性の向上を図ります。

【商工振興課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

●船橋産農水産物の認知度の向上

(26,538千円) 79・81頁

「船橋にんじん」や「船橋のなし」、小松菜、枝豆等の船橋産農産物の認知度向上を図るため、東京スカイツリーソラマチ広場や有楽町駅前広場等でトップセールスを行います。

平成29年度は市制施行80周年及び農水産祭50回を記念して、新たに農水産物直売所スタンプラリーを行うとともに、従来のなし味自慢コンテストや福祉なし贈呈を「なしフェスティバル」として事業を拡充し開催します。

【農水産課】

●密漁防止対策の推進

(22,015千円) 83頁

密漁を未然に防止するため、漁業協同組合が行う監視員の配備、チラシ・横断幕等による啓発活動を支援するとともに、新たに密漁監視するための監視カメラ設置に係る経費の一部を助成します。

【農水産課】

△JR船橋駅北口ペDESTリアンデッキ等の改修

(101,344千円) 91頁

歩行者の安全を確保するため、現状調査の結果をもとに、駅前広場とペDESTリアンデッキの改修を昨年度に引き続き実施します。

【道路維持課】

○道路標識の英語表記を実施

(7,260千円) 95頁

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、今後多くの外国人の来訪が見込まれることから、英語表記されていない市内道路案内標識及び交差点名表示板の英語表記化を順次行います。

【道路維持課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△JR船橋駅南口駅前の整備

(131,000千円) 101・105頁

中心市街地の円滑な交通を確保するため、平成29年8月の供用開始を目指し、南口駅前広場から京成本線高架までの都市計画道路3・4・11号線の整備を進めます。

また、3・4・11号線を横断するペDESTリアンデッキ（フェイス～西武百貨店）を新たに設置するための基本設計を行います。

【道路建設課・都市整備課】

△運動公園プールの再整備

(706,119千円) 103頁

運動公園プールについて、レクリエーション機能を持たせた施設として、平成29年7月のオープンに向けて、引き続き整備してまいります。

【公園緑地課】

○二和東5丁目国家公務員宿舎跡地の活用

(518,500千円) 153頁

都市機能の更なる充実を図るため、二和東5丁目の国家公務員宿舎跡地を、新京成二和向台駅前ロータリー等の予定地として取得します。

【政策企画課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

●姉妹・友好都市との交流

(19, 121千円) 25頁

平成29年度に市制施行80周年を迎えることから、オーデンセ市・ヘイワード市・西安市から文化団を招き、これまでの交流の歩みを祝うとともに、市民同士の更なる親善交流を図ります。

平成29年は日本・デンマーク外交関係樹立150周年にもあたるため、オーデンセ市に代表団を派遣します。

【国際交流室】

○市民活動団体の後継者問題への対策

(4, 950千円) 25頁

高齢化の進行に伴う町会・自治会、市民活動団体等の担い手等の後継者問題について、その対応を検討するため、調査・分析を行います。

【市民協働課】

○船橋を舞台とした映画制作への支援

(10, 000千円) 27頁

市内在住の小説家である森沢明夫氏原作の船橋を舞台とした「きらきら眼鏡」が映画化されることに伴い、協賛等の支援を行い、シティセールスにつなげていきます。

【政策企画課】

●町会・自治会館設置費の補助対象の拡充

(68, 170千円) 31頁

町会・自治会活動を支援するため、新たに町会・自治会館設置費の補助対象に、既存の建物を有効活用した会館の新設を加え、バリアフリー化のための修繕について補助対象を拡大します。

【自治振興課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

○映像教材「(仮称) ふなばしのあゆみ」の制作

(2, 340千円) 113頁

市制施行80周年を節目として、市が所蔵する写真等の資料やまちの歴史・文化財を取りまとめた映像教材「(仮称) ふなばしのあゆみ」を制作します。これを利用した授業を小・中学校で行い、作文コンクールを開催することで、児童生徒が「ふるさと船橋」をより深く学ぶ機会をつくり、故郷を誇りに思い大切に作る気持ちを育みます。

【総合教育センター】

●取掛西貝塚の保存・整備

(104, 164千円) 125頁

全国的にも希少な縄文時代早期前半(約1万年前)の貝塚である取掛西貝塚(飯山満町1丁目)について、遺跡の詳細な情報を得るため、平成28年度に実施した分布調査の結果を踏まえ、地形測量及び発掘調査を行います。

史跡保存のための土地を取得し必要な整備を行います。さらに、市民に遺跡の価値をわかりやすく伝え、遺跡を保存・整備する機運を高めるため、シンポジウムを開催するとともに、こうした市の遺跡の魅力をわかりやすく伝える市民向け読本『ふなばしの遺跡』を刊行します。

【文化課】

○総合体育館スポーツ資料展示室オープニングイベント

(3, 701千円) 125頁

一般財団法人吉澤野球博物館から寄贈された貴重な野球資料や、本市にゆかりのあるアスリート、千葉ジェッツ、クボタスピアーズ等のスポーツ資料を常設展示するスポーツ資料展示室が、平成29年4月に総合体育館内に開設するのを記念し、オープニングイベントを開催します。また、公益財団法人野球殿堂博物館との交流を目的とした協定の調印式をオープニングイベントの中で実施します。

【文化課・生涯スポーツ課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

△東部公民館建替えに向けた施設活用の検討

(2,000千円) 127頁

老朽化している東部公民館の建替えに向け、併設している津田沼連絡所のあり方、津田沼駅周辺の駐輪対策等の課題も含め、将来を見据えた当該施設における公共施設の適切な配置や機能について、地元住民の意見を伺いながら検討します。

【社会教育課】

●図書館サービスの向上

(392,928千円) 129頁

民間活力の活用による図書館サービスの向上を図るため、平成29年4月から中央・東・北図書館に指定管理者制度を導入します。また、全館で開館日数の拡充（毎月最後の月曜日を除く月曜日開館）及び開館時間の延長（平日20時まで開館）を行い、図書館利用者の利便性向上を図ります。

【社会教育課】

△郷土資料館の改修

(210,442千円) 133頁

開館以来40年以上経過した郷土資料館の耐震改修、バリアフリー化工事などを行います。併せて、展示設備を全面的に見直し、より魅力的な施設として平成30年1月のリニューアルオープンを目指します。

【郷土資料館】

○障害者スポーツの振興

(147千円) 135頁

障害者スポーツの振興を図るため、「(仮称) 障害者スポーツ推進協議会」の平成30年4月の設置を目指し、検討を行います。

【生涯スポーツ課】

市制施行80周年記念事業

理念（コンセプト）

現在の船橋市は、それぞれの時代に、多くの市民が、それぞれの立場で協力し合い、自らまちを作り上げたことにより、今日の姿があります。

これまでの発展の歴史について多くの市民が共有し、人とまちの活力を維持するとともに、将来を担う子供たちに伝えていくことで、10年後、20年後（市制施行100周年）においても活力あるまちであり続けることができます。

このことを念頭において、市制施行80周年の節目の年である平成29年度に様々な記念事業を行います。

事業構成

<過去>

■映像や写真等を通して、歴史を振り返り、これまでの船橋の歩みを伝えます。

<現在>

■船橋市の発展を支えている市民・団体を表彰するほか、市の魅力である産業・スポーツ・音楽等にスポットをあてます。

○式典

○産業振興

○スポーツ

○音楽・文化・芸術

○交流

○まつり・賑わい

<未来>

■今ある身近な自然や風景に触れ、恵まれた自然環境を守り、未来に引き継ぎます。

■これからの船橋市を支えていく子供たちに、船橋市の歴史を伝え、未来を考えてもらいます。

<広報・PR>

■市制施行80周年及び各種記念事業を市内外へ広く、効果的に周知・PRします。

市制施行 80 周年記念事業

【映像や写真等を通して、歴史を振り返り、これまでの船橋の歩みを伝えます】

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
市政記録映画上映会	広報課	11月ほか	25頁
80周年記念写真展	視聴覚センター	4月・6月	(H28 予算)
80周年記念企画展（写真展）	郷土資料館	6～7月ほか	131頁
図書館資料に見る船橋市の80年	各図書館	5～8月	—

【船橋市の発展を支えている市民・団体を表彰するほか、市の魅力である産業・スポーツ・音楽等にスポットをあてます】

○式典

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
80周年記念式典	秘書課	11月	25頁

○産業振興

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
第50回船橋市農水産祭	農水産課	6～11月	81頁
経済ミーティングとの協働イベント	商工振興課	9～10月頃	87頁

○スポーツ

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
野球殿堂博物館協定調印式、スポーツ資料展示室オープン	文化課 生涯スポーツ課	4月	125頁
市立船橋高等学校第3体育館オープン	市立高校	H30年 1～3月頃	121頁

市制施行80周年記念事業

■ホームタウンイベント

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
千葉ジェッツふなばし KANTO CUP	政策企画課 生涯スポーツ課	9月上旬	予算なし
クボタスピアーズのホームタウン宣言	政策企画課 生涯スポーツ課	5～6月	予算なし

○音楽・文化・芸術

■音楽

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
ふなばし音楽フェスティバル			
➢ふなばしミュージックストリート	文化課	10月	1 2 3 頁
➢千人の音楽祭	文化課	H30年2月	1 2 3 頁
➢(仮称) 県民芸術劇場公演～スプリングコンサート in ふなばし～	市民文化ホール	H30年2月	1 2 5 頁
➢クリヤ・マコトユニット	市民文化創造館(きららホール)	12月	1 2 5 頁
アンデルセンプロジェクト	市民文化ホール	9月	1 2 5 頁

■文化・芸術

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
船橋を舞台とした映画への協賛	政策企画課	6月	2 7 頁
アンデルセン公園子ども美術館「錫の兵隊」オープン	公園緑地課	H30年3月	(H28 予算)
市制80周年記念公開収録の開催	文化課	12月	1 2 3 頁
市民向け読本『ふなばしの遺跡』刊行	文化課	H30年3月	1 2 5 頁

市制施行 80 周年記念事業

○交流

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
姉妹・友好都市交流事業	秘書課国際交流室	8月・10月	25頁
船橋市少年少女交歓大会	青少年課	5月	129頁

○まつり・賑わい

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
船橋港親水公園花火大会	商工振興課	7月	89頁
運動公園プールリニューアルオープン	公園緑地課 生涯スポーツ課	7月	103頁

【今ある身近な自然や風景に触れ、恵まれた自然環境を守り、未来に引き継ぎます】

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
ふなばし三番瀬環境学習館オープン	環境政策課 公園緑地課	7月	69頁
北部清掃工場余熱利用施設「ふなばしメグspa」オープン	資源循環課	4月	73頁
船橋市景観マップ（景観80選）	都市計画課	1月	99頁

【これからの船橋市を支えていく子供たちに、船橋市の歴史を伝え、未来を考えてもらいます】

事業名	課名	開催時期	予算参考資料
映像教材「（仮称）ふなばしのあゆみ」の制作	総合教育センター	7・11月	113頁

市制施行 80 周年記念事業

【市制施行 80 周年及び各種記念事業を市内外へ広く、効果的に周知・PR します】

事業名	課名	備考
船橋市市制施行 80 周年記念誌	広報課	H28 予算対応
広報ふなばし市制施行 80 周年記念特集号	広報課	
80 周年記念ロゴマーク・キャッチコピー	政策企画課	
記念グッズ・広報グッズ ※公用車マグネットシート、横断幕など	政策企画課	
80 周年記念のぼり旗	政策企画課	

船橋市市制施行80周年記念ロゴマーク



[制作者のコメント]

「80」をモチーフとして、市民が暖かな心をもって、笑顔で、頭などに市の花「ヒマワリ」「カザグルマ」を飾り、80周年を明るく、楽しく、お祝いをしているイメージとしました。

船橋市市制施行80周年記念キャッチコピー

新たな船出、夢の懸け橋、ふなばし80年

[制作者のコメント]

キャッチの中に船橋市の「船」と「橋」を入れ込み、未来へ夢あふれる市制80周年を迎えることをイメージしました。

また、この橋が今後の90年、100年と歴史を「つなぐ」願いを込めました。現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くの人々に愛されるキャッチです。